

# 平成28年度 獨協埼玉高等学校 自己評価シート

目指す学校像	多様かつハイレベルな進路目標を実現するとともに、豊かな環境のもと、自ら考え、判断できる若者を育てる。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 能動的学習をなおいっそう取り入れ、自ら考え判断できる若者を育てる。</li> <li>2. 進路目標の実現に向けて努力する。</li> <li>3. 登下校時の安全とマナーの向上を図る。</li> <li>4. 学校生活の安全性と快適性を向上させるため、安心・安全な学校作りを進める。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (3月8日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○ 自ら考え判断できる若者を育てるためには、積極的に学び、考え、表現する活動を十分に行う必要がある。	○ 授業の質を高め、生徒の興味・関心を育てる。 ○ 能動的に学び表現する態度を育てる。	○ 授業の改善を目指して授業アンケートを実施する。 ○ 学習者参加型の能動的学習を適切に授業に取り入れる工夫をする。 ○ 獨協コースの教育内容を学校内外に効果的に広報する。	○ 授業アンケートを実施したか。 ○ 能動的学習について教科や題材に応じた効果的な方法を探求したか。 ○ 獨協コースの教育内容を広く知らせるための資料を準備し、ホームページに掲載したか。	○ 授業アンケートを2学期末に実施した。 ○ 夏の校内研修会で能動的な学習の研修を行った。 ○ 論文のタイトル一覧及び優秀論文集を作成した。また、獨協コースでの学びについてホームページに概要を掲載した。	A-	○ 授業力向上のためにさらに方策を講じる必要がある。 ○ 能動的な学びの効果的なあり方について教科会に加え全校で検討する。 ○ 学校内外に獨協コースの教育内容を伝えるために左記資料を活用する。
2	○ より高い学習と進学実績を求める生徒の期待に応える必要がある。	○ 自発的な学習を促す。 ○ 高度な学習を促す。 ○ 教科横断的な学習支援体制を整える。	○ 自発的な学習集団を育てるため自習室の拡張、自習スペースの拡充を図る。 ○ 難関大学の入試に対応した授業や講習を行う。 ○ 他教科の授業内容、試験問題、入試対応など、教科横断的な情報共有の場を設ける。	○ 自習室を拡張したか。自習スペースを拡大充実させたか。 ○ 難関大学の入試に対応した授業や講習を行ったか。 ○ 教科横断的な情報共有の場を設けたか。	○ 自習室を約2倍に拡張した。また、中庭を望む自習スペースを拡充した。 ○ 高3の授業を中心に難関大学の入試問題を扱っている。特定の大学に特化した講習は改善の余地がある。 ○ 夏の校内研修会において他教科の実践を見る機会を設けた。	B+	○ 自習スペースを拡張するとともに、設備の整備も進める。 ○ 難関大学の入学試験に包括的に対応できる態勢を整える必要がある。 ○ 数学と理科、国語と英語など教科を超えて協調して指導することの意義を自覚する。
3	○ 登下校時の安全とマナーの向上が求められている。	○ 登下校時の安全とマナーの向上を図る。	○ バスの乗車指導、駅周辺での指導を継続する。 ○ 試験期間中の通学路での下校指導を継続する。 ○ バスや電車内のマナーを指導する。	○ バスの乗車指導、駅周辺での指導を継続したか。 ○ 試験期間中の通学路での下校指導を継続したか。 ○ バスや電車内のマナーにかかわる苦情はなくなったか。	○ バスの乗車指導、駅周辺での指導を継続した。 ○ 試験期間中の通学路での下校指導を継続した。 ○ バスや電車内のマナーにかかわる苦情は減少したが、皆無ではない。	A-	○ 登下校時の安全とマナーの指導をHRなどを通じて今後も継続する必要がある。
4	○ 生徒が安全に生活できるような環境作りをさらに推進する必要がある。	○ 大地震に備えた態勢づくり ○ AED講習 ○ 携帯マナー教室 ○ 不審者侵入対応マニュアル	○ 地震発生に備え、食糧備蓄を維持する。 ○ 地震に備えた避難訓練を実施する。 ○ AED講習会を開催する。 ○ 携帯マナー教室を実施し、SNSなどの安全な利用法を理解させる。 ○ 不審者侵入に備えた態勢を確立する。	○ 全生徒・全教職員に対し3日分の食料・飲料水の備蓄を維持したか。 ○ 避難訓練を実施したか。 ○ 中2と高2にAED講習会を開催したか。 ○ 中1と高1を対象に携帯マナー教室を実施したか。 ○ 不審者対応マニュアルを周知したか。	○ 3日分の食料・飲料水の備蓄を維持した。 ○ 5月に避難訓練を実施した。 ○ 中2と高2にAED講習会を開催した。 ○ 中1と高1を対象に携帯マナー教室を実施した。 ○ 不審者対応マニュアルに基づき来校者を把握している。	A	○ 今後も、備蓄は維持し、避難訓練、AED講習会、携帯マナー教室は毎年実施する必要がある。 ○ 不審者侵入を防止するための態勢整備をさらに図る。

実施日	平成29年4月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業アンケートを更にあるものにしていただきたい。</li> <li>○ 今後の新学習指導要領に関する情報を保護者も共有する機会を設けてほしい。</li> <li>○ 生徒だけでなく、保護者にも早い段階で、推薦や獨協コースについての詳細を知らせてほしい。</li> <li>○ 公欠などで欠席した場合の補習を充実させてほしい。</li> <li>○ 家庭学習の徹底を促す場合に、教員間の温度差を感じるので、統一していただきたい。</li> <li>○ 教員間の研修を重ね、具体的に効果的な授業実践を期待する。</li> <li>○ 様々なルールやマナーは家庭の協力が不可欠なので、是非協力して指導したい。</li> <li>○ 引き続き、避難計画や防災計画を綿密に点検して、生徒の安全を確保してほしい。</li> <li>○ 対策が急務と思われる。</li> </ul>